

耳鼻喉を守る

老人性難聴

耳の機能は加齢とともに低下します。老化は片方だけでなく、両

難聴

③

方の耳に同じ程度の症状として表れ、耳鳴りを伴うこともあります。とくに高い音が聞き取りにくくなるのが特徴です。女性や子どもの高い声が聞き取りにくい、ベルの音が聞き取りにくい、聞き違いが多くな

るなどの症状が表れたら、要注意。

個人差はありますが、聴力の低下は40代から始まり、50代で老



人性難聴の症状が認められる場合もあります。

近ごろ、会話中に「えっ?」と聞き返すことが多くなっていますか?

男性の場合、妻の問

いかけが聞こえず、返事をしないで文句を言われた経験はありませんか?

それは、とくに女性

50代でも妻の音が聞こえにくくなったら要注意

の高い音が聞き取りにくい老人性難聴の症状かもしれません。

耳の老化が恐ろしいのは、「ボケ」につながるりやすいことです。

言葉が聞き取りにくくなるとう話がおっくろになり、人とのコミュニケーションに臆病になるためです。

耳からの情報が遮断され、自分の殻に閉じこもりがちになることは、脳の老化を早める要因にもなります。

耳から得る情報は膨大な量です。これを維持するには、日ごろの健康管理が不可欠です。老人性難聴は、少しずつ進行していきます。血圧や視力などと同様、年に一度聴力検査をして、自分の耳の状態も把握しておくことが大切です。

・慶友銀座クリニック
大場俊彦院長